

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和7年度第3回岩手県公共事業評価専門委員会（現地調査）

2 開催した日時

令和7年8月7日（木） 13:00～13:40

3 開催場所

地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型） 一般国道340号 和井内～押角（宮古市）

4 出席委員

武藤由子専門委員長、石川奈緒副専門委員長、伊藤幸男委員、清水真弘委員（6名中4名出席）

5 議題等

地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型） 一般国道340号 和井内～押角（宮古市）
道路建設課から事業内容について説明があり、現地状況の調査を行った。

■ 専門委員からの主な質疑、意見は次のとおり

（質疑）

全体的に路面高を上げるということは高位差が大きくなるのか。

（回答）

当初計画の縦断計画は、現道より極力上げないように考えていたことから、場所によっては勾配が急になるような箇所もあった。今回、当初計画に比べ全体的に縦断計画を上げる見直しをしたことで緩やかな勾配になった。

（質疑）

道路を川側に出すということだが、川幅は変わらないのか。

（回答）

河川の流れに影響が無い範囲で計画しており、川幅は変わらない。

（質疑）

平面図にある建物は何の施設か。

（回答）

トラウトサーモンなどの養殖施設である。

（質疑）

今後、現道の工事をする際、車両の通行はどうなるのか。

（回答）

基本的に車両を通しながら工事を進める予定であるが、可能であれば時間帯通行止めをすることも考えられる。

（質疑）

時間帯通行止めをした場合、迂回路はあるのか。

（回答）

迂回路はない。どの程度時間帯通行止めができるかは、関係各所との協議により検討していく。

（質疑）

道路の幅が狭いが、車両同士がすれ違うときは譲り合って通っているのか。

（回答）

すれ違いが必要な場合は譲り合いながら通行している。

（質疑）

〔宮古側の事業区間外〕現道と旧JR岩泉線を一方行ずつ分けて通行させる案はないのか。

(回答)

旧 J R 岩泉線側には、既存のトンネルが数箇所あり、車両を通すための拡幅工事などで費用がかかる。また、現道も急峻な地形と河川に挟まれておりカーブの解消ができないなどの状況から、一方行ずつ分けて通行する計画は困難である。

(質疑)

起点側の未改良区間を含めて全体を一気に整備する方が良いのではないか。

(回答)

多額の事業費を要することなどの理由から、早期の整備効果発現が可能な区間を本事業の工区として計画している。

(意見)

現地を確認すると整備の緊急性や必要性がよく理解できた。

6 会議資料

資料 No. 1 現地調査行程表

資料 No. 2 現地調査地区位置図及び説明資料

参考資料 令和 7 年度第 2 回岩手県公共事業評価専門委員会の審議概要

※ 会議資料については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

7 傍聴人数

一般 0 人 報道 0 社

8 問い合わせ先

〒020-8570 盛岡市内丸 10 番 1 号

岩手県政策企画部政策企画課 TEL : 019-629-5181 FAX : 019-629-6229

9 アドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/koukyouhyouka/1086055/1086063.html>

10 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。